

大学・高専機能強化支援事業
(学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援)【支援1】
事業概要

令和5年7月時点

1. 基本情報

選定年度	令和5年度	学校コード	F134310109900
大学名	安田女子大学	設置区分	私立
学校種	大学	都道府県	広島県
大学全体の総収容定員数	5,546 名 ※令和5年5月1日時点		
学部学科 組織構成	文学部（日本文学科、書道学科、英語英米文学科）、教育学部（児童教育学科）、心理学部（現代心理学科、ビジネス心理学科）、現代ビジネス学部（現代ビジネス学科、国際観光ビジネス学科、公共経営学科）、家政学部（生活デザイン学科、管理栄養学科、造形デザイン学科）、薬学部（薬学科）、看護学部（看護学科）、短期大学（保育科）		

2. 事業概要

自然界に存在する物質や現象の原理・法則を追究する「理学」と、その知識をもとに独創的な技術を創出し、実用的な課題の解決に応用する「工学」の力を併せ持ち、持続可能な社会の発展を目指す女性人材の育成を目的に、理工学部（生物科学科・情報科学科・建築学科）を令和7（2025）年度に開設予定である。入学定員は各60名（収容定員は各240名）。理工学部の全ての学科において、 社会や地域との連携を前提としたプロジェクト演習を重点的に展開 する。大学で理論を学ぶだけでなく、大学の外に出て、 行政や企業、地域の課題やニーズ を収集し、必要に応じて他の専門分野と連携しながら多角的にアプローチすることで、 自身の専門分野を基盤とした創造力・コミュニケーション力・課題解決力など、社会での即戦力を身につける 。また、 理工学部の研究・実験に対応し各学科の人材育成を実現するため、延床面積約15,000㎡の新棟（理工学部棟）を建設する （令和7(2025)年完成予定）。

3. 本事業で新たに設置等を行う組織

改組予定年度	令和7年度
認可申請・届出予定	令和6年度
	※既に申請・届出している場合はその年度を記入
改組内容	学部の新設
設置等組織名	理工学部（生物科学科・情報科学科・建築学科）
設置等組織の学位分野	理学関係
当該学部等の所在地	広島県広島市安佐南区
入学定員	180 名
収容定員	720 名
入学定員の増加数	180 名
他学部等の入学定員の減少数	120 名

※学部・学科を新設する計画である場合は、当該学部等の所在地欄は予定所在地を記入。

※入学定員には編入学定員を含む。



<基本情報>

- 改組予定年度：令和7年度 ■改組内容：学部の新設 ■設置等組織名：理工学部（生物科学科・情報科学科・建築学科）
 ■入学定員：【R7新設】180名（各学科60名） ■所在地：広島県広島市安佐南区安東

<コンセプト及び社会的なニーズ・教育内容・特徴>

■生物科学科「植物の力で社会を豊かにする」

植物を中心に地球上の生命体を幅広い階層で解析し、生物の進化や多様性の本質、生命現象の普遍性を学び、2030年までに85億人に達すると言われる人口増大に伴う食糧問題、カーボンニュートラルの実現やバイオマス資源の開発など、持続可能な社会実現に寄与する知識と技術を有するグリーン人材の養成に貢献します。

■情報科学科「情報技術で未来を救う」

情報の量や品質を定量的評価する情報理論に基づいて社会課題を十分に理解し、社会に本当に必要な情報を発信する能力、情報システムの設計・開発・運用が行える人材を養成し、2030年には54.5万人不足すると言われる先端IT人材不足や、先進諸国と伍する我が国のデジタル競争力向上に貢献します。

■建築学科「想いを表現し、未来の建築を創る」

専門的知識・技能に加え、エネルギー効率の高い建物の設計・運用、再生可能エネルギーの活用、環境に配慮した材料の選定、既存住居の再生など、グリーン分野を含めた広範な生活環境に対する状況把握能力や判断力、倫理観、創造力を備えた人材を養成します。住宅・建築物はゼロエネルギー住宅・建築物（ZEH/ZEB）推進の観点から、経済産業省「2050年カーボンニュートラルに伴うグリーン成長戦略」においてもエネルギー消費量削減に大きく影響する分野の1つとして選定され、人材養成と革新的技術の社会実装が求められています。

理論追究・実践展開の2コース展開

<<理論追究>> 生物科学コース

生物学の基礎研究を中心に深め、**ゲノム解析・遺伝子組み換え・品種改良・新規酵素の探求**などに取り組み、**生命の真理を追究する。**

<<実践展開>> 食・環境開発コース

花卉園芸、食品・発酵醸造などを学び、生活を彩る**食品や香粧品、高品質果実や野菜・花、エネルギー資源などを開発する力を養う。**

理論と実践の両面から生まれる相乗効果

プロジェクトや研究テーマに応じて、学年やコース、研究分野などを越えて横断的に学び、理論と実践の両面から多角的にアプローチすることで、より深く、広い視野を持つことができます。

オーダーメイドカリキュラム

情報技術3分野7領域から複数の学びを選び、修得スキルを自由にデザインする

デジタルメディア分野

- ① プログラミング領域
- ② Web領域
- ③ サーバ・ネットワーク領域

発信力 を伸ばす

- ・WEBサイト構築
- ・ソフトウェア・アプリ開発
- ・サーバ構築
- ・ホワイトハッキング

ヒューマンインターフェース分野

- ④ ヒューマンインターフェース領域
- ⑤ ゲーム開発領域

表現力 を伸ばす

- ・画像/映像編集
- ・仮想空間アバター作成
- ・メタバース技術
- ・仮想空間と現実の融合

データサイエンス分野

- ⑥ IoT・データサイエンス領域
- ⑦ 人工知能領域

問題解決力 を伸ばす

- ・人工知能
- ・データ解析/課題解決
- ・IoTによる遠隔制御
- ・画像認識システム

感性豊かな建築家を育成する2つのコース

建築コース

1年前期～4年後期まで8学期にわたる設計演習を通して、製図用具の使い方など基礎から応用まで段階的に学びます。デザインを重視した意匠設計を中心に知識を深め、創造性の高い表現力を養います。4年次は、**学生一人ひとりに用意された個人設計スペース（スタジオ）で学修**。集中して設計作業に取り組むことができます。

空間デザインコース

現代の多様なライフスタイルに適応し、健康で快適な住空間、顧客を魅了する商空間、美しいランドスケープデザインなど、空間デザインを多角的に学びます。既存住宅の長寿命化や歴史的町並み保存など、既存の建築物がもつ固有の価値を最大限に引き出すとともに、**新たな価値を付加し再構成するリノベーションやコンバージョン**の手法を学びます。

<教育体制・環境の整備>

- ・一般社団法人「教育ネットワーク中国」を通じて、単位互換科目の提供・大学間連携を推し進める予定。
- ・各学科に関連の深い企業・自治体等と連携し、独自の視点でニーズを収集し解決に取り組む連携プロジェクト(PBL)の展開を計画。
- ・理工学部の研究・実験に対応し各学科の人材育成を実現するため、延床面積約15,000㎡の新棟（理工学部棟）を建設（2025年完成予定）。
- ・教員組織については、国内外を問わず優秀な教員確保に向けて採用活動を実施（実務経験を有する教員による科目配置も計画）。
- ・地域連携・産官学連携により学生の実践的な学びを促進するため、学部開設時には新たに「地域連携センター」を設置予定。

<学生確保に向けた取り組み>

- ・高大連携・出張講義を展開し、多様な入学者確保に向けて取り組む予定。社会人学生の確保に向け、社会人特別選抜の導入を計画。
- ・理工学部関連特設サイトアクセス数や高校生資料請求数、オープンキャンパス来場高校生数などの年度ごとの目標値を設定し、認知・興味の促進を図るほか、高校教員を対象とした説明会を行い、高校生だけでなく教員にも認知・興味の促進を図る。

<外部資金の獲得計画>

- ・既存の学部学科教員や新設予定の理工学部教員において、少なくとも科研費新規申請者を10人以上増やす目標を定める。実現に向けFD研修会や科研費説明会において申請促進を一層強化する。また、科学研究費に限らず奨学寄附や共同研究獲得に向け、教員に対して学内ポータルサイトやポスターを活用し、広く周知する。